



シンポジウム

躍動する韓国市民社会と日韓関係

一文在寅新政権の行方

去る5月9日、韓国で実施された大統領選挙において「共に民主党」の文在寅候補が韓国第19代大統領に当選しました。朴槿恵前大統領の前代未聞の国政壟断・私物化に対する国民の怒りが延べ1500万人を超える市民のろうそくデモとして爆発し、これが国会での大統領弾劾訴追案の可決（昨年12月9日）、さらには憲法裁判所による訴追案認容による朴大統領の罷免（3月10日）へと実を結んだのです。今回の大統領選挙は、そうした「ろうそく革命」とも「名誉革命」とも呼ばれる韓国市民社会の躍動と達成のうえに実施されたものです。当選を果たした文在寅新大統領もそうした「爰晷(ろうそくの灯)」に込められた国民の意思を受け止め、これを国政に活かすことを約束しています。

いうまでもなく、「ろうそく革命」によって生まれた新政権とはいえ、その前途は険しく多難な道のりとならざるを得ません。グローバル化にともなう社会の「両極化」が極端なまでにすすみ、貧困や孤立が「ヘル朝鮮」といわれるまでに韓国社会を蝕んでいます。北朝鮮の核開発への対処をめぐる米国や中国との関係でも難題が山積みとなっています。さらに、今回のろうそく革命は、躍動する韓国の市民社会と、憲法改正を掲げる安倍政権が大きな支持を受ける日本の市民社会との違いをあらためて浮き彫りにしました。懸案とされている軍慰安婦問題の日韓の調整もきわめて難しくなることが予測されます。

今回のシンポジウムでは、以上の状況を踏まえて、新政権誕生の背景と意義、そして国民生活や外交安保をめぐる新政権の課題、とりわけ日韓関係の今後について、韓国・日本の第一線で活躍する識者を招いて議論を深めます。

基調講演 ..... **徐 載 晶** 国際基督教大学 教授

報告者 ..... **文 京 洙** 立命館大学 教授

報告者 ..... **権 赫 泰** 聖公会大学 教授

モデレータ ..... **朴 一** 大阪市立大学 教授

日 時 2017年 **6** 月 **3** 日 (土)

13:30-17:00

場 所 **大阪市立大学 文化交流センター**

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6F

資料代 1,000円

【事務局】

国際高麗学会 日本支部

isksj@ams.odn.ne.jp

http://www.isks.org/

申込不要

